



永平寺町

第50号

平成30年4月20日発行

議会だより



2 ~ 3 **歴代議長に聞く (永平寺町議会)**

11 ~ 19 **そこが聞きたい!** 議員13人が一般質問

22 ~ 23 **議会と語ろう会**

歴代議長 全員集合

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索





発刊
50号
記念

歴代議長に聞く(永平寺町議会)



初代議長
鈴木 宏紀氏

合併特例で41人の議員で構成する議会だったので、サンサンホールで議会を開催した。残念なことは、庁舎の本会議場に入れなかったこと。議員数が多く裁くのが大変だった。議会は地味な世界だが、基本は理念が大切で、住民の負託に応えること。議員数が削減しても多様な住民の意見を踏まえて議決してほしい。議員の資質と力量が問われるので頑張してほしい。

合併後の初めての選挙では議員定数が削減され20名。それぞれの議員が地区を背負っていた。議会改革を目指し、先進地である宮城県まで視察に出かけた。議員の意気込みが感じられた。住民に愛される議会を目指すために努めた。議会が住民にどう浸透するか、どう住民と一緒にになれるかが課題。住民自治で地区をどうするかが町政に関係してくる。議会は住民の中に入り住民自治をどう育てるか、行政がどう動くかである。



三代議長
坂本 伊三栄氏

鈴木議長の時、厚生委員会の副委員長として、賛成討論では「こんなんでいいのかわからない」と思いながら討論した。当時は、喜んだこと・思うようにならないこと・歯がゆいことなどいろいろ経験した。河合町長には新しい施策があり、長い目で見る必要がある。議案は議会にも責任がある。大きな花を咲かせることが重要なので、議会も町の発展に尽くしてほしい。町民は議員には本音で話ができるので、町民とは絶えず話することが肝心。



二代議長
上田 誠氏

坂本議長が「道路は大切なもの」と言われたことや、上田議長が「議会とは何ぞや」など、行動する議会にしてきた。住民の声を聴くために議会と語ろう会を始めた。特に上志比の温泉問題の時には腹が据わった。フェイスブックを始めた時には、他の議員の協力が嬉しかった。

4年前の町長選挙で河合町長が出馬した。現職と新人の選挙で、当時は大変苦悩した。議員当時の河合町長と川崎議長にインターネットを教え込まれた。河合議長時代の「開かれた議会」「行動する議会」「提案する議会」を総称して「飛行艇」をキャッチフレーズにした。志比門前の開発には、本山の道場という考えと門前商店街の観光という考えに歩み寄りが必要。



六代議長
川崎 直文氏

議会は開かれた行動する提案することだと思う。考えて行動したがなかなかうまくいかなかった。新たなこととして事務事業評価を実施した。プロジェクトチームを作り「地方創生」「公共施設再編」「国体」などで活動したが、うまく運用できなかった。半面、「永平寺町食文化に関する条例」を議会発議で成立した。「永平寺町まち・ひと・しごと総合戦略」では、議会としてチェックしている。在職中に、次の町議会議員選挙から議員定数を14名とした。地区でなく地域を小さな拠点として、地区振興連絡会の設立、充実を図る。

現議長として残り2回の定例会をどう乗り切るかである。議員をまとめるのは非常に難しい。考えているうちに2年が過ぎてしまった。次の町議会議員選挙で議員が14名になることから本会議主義導入を見据えて試行している。道の駅や温泉は規模が小さいのが課題。勝山に新しい道の駅ができたり地域未来投資法の施設もできるので共存することは必要。3地区にはそれぞれ特徴があり、特徴を生かした発展が必要。



四代議長
河合 永充氏



五代議長
伊藤 博夫氏



七代議長
齋藤 則男氏





再任 副町長 平野 信二氏 (松岡葵) 68歳

この度、町議会の選任同意を賜り、4月から引き続き副町長の任にあたることになりました。
河合町長が目指す町政推進、施策実現のため、町長を補佐しながら職員と力を合わせて、まい進していく所存でございます。
何とぞ町民の皆さま方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新任 教育長 室 秀典氏 (松岡吉野) 64歳

この度、町議会の任命同意を賜り、はからずも教育長を拝命いたしました。
河合町長のもと、微力ではございますが情熱と責任感を持って職責を全うしていく覚悟でございます。
何とぞより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

3月27日追加議案

議案第29号 指定管理者の指定について	可決	議案第36号 教育委員会委員の任命同意について 大坂 蘭子氏 (栃原)	同意
議案第30号 監査委員の選任同意について 前川 次夫氏 (鳴鹿山鹿)	同意	議案第37号 教育委員会委員の任命同意について 桑原 さとみ氏 (轟)	同意
議案第31号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意について 布目 一夫氏 (松岡吉野塚)	同意	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について 田中 みゆき氏 (松岡葵)	適任
議案第32号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意について 山口富士雄氏 (志比)	同意	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について 酒井 洋子氏 (松岡西野中)	適任
議案第33号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意について 南部 哲氏 (藤巻)	同意	選挙管理委員会委員および補充員の選挙について 選挙管理委員 田中 秀明氏 吉岡 龍人氏 中川まゆみ氏 岩口 清志氏	推薦
議案第34号 副町長の選任同意について 平野 信二氏 (松岡葵)	同意	補充員 小林 仁章氏 西野 弘美氏 山本 雄二氏 浅野 秀信氏	
議案第35号 教育委員会教育長の任命同意について 室 秀典氏 (松岡吉野)	同意		

議案への賛否一覧 議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(齋藤則男)は採決に加わりません

	上坂	滝波	長谷川	朝井	江守	小畑	上田	金元	樂間	川崎	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	□	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	□	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	□	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	□	—	○	○	○	○	○	○	○

平成30年 第1回定例会報告

議長 齋藤 則男

平成30年第1回永平寺町議会定例会は、3月5日(月)から3月27日(火)までの23日間開催されました。
審議され可決された内容は、次のとおりです。

第1回定例会議案

議案第1号 平成29年度一般会計補正予算について	可決	議案第15号 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第2号 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決	議案第16号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号 平成29年度介護保険特別会計補正予算について	可決	議案第17号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	可決
議案第4号 平成29年度下水道事業特別会計補正予算について	可決	議案第18号 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号 平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決	議案第19号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号 平成30年度一般会計予算について	可決	議案第20号 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号 平成30年度国民健康保険事業特別会計予算について	可決	議案第21号 福祉関係医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第8号 平成30年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決	議案第22号 町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第9号 平成30年度介護保険特別会計予算について	可決	議案第23号 健康福祉スポーツ施設条例の制定について	可決
議案第10号 平成30年度下水道事業特別会計予算について	可決	議案第24号 上志比地域振興センター条例の制定について	可決
議案第11号 平成30年度農業集落排水事業特別会計予算について	可決	議案第25号 公民館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第12号 平成30年度上水道事業会計予算について	可決	議案第26号 消防本部手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第13号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	議案第27号 松岡公民館耐震改修工事請負変更契約の締結について	可決
議案第14号 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う町税条例の課税の特例に関する条例の制定について	可決	議案第28号 福井県市町総合事務組合規約の変更および財産処分について	可決

議案への賛否一覧 議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(齋藤則男)は採決に加わりません

	上坂	滝波	長谷川	朝井	江守	小畑	上田	金元	樂間	川崎	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等31件については全員賛成です。

平成29年度3月補正予算報告

平成29年度一般会計3月補正予算

19億4,675万円

【主な項目】**障害者自立支援事業** 1,763万円
除雪事業 2億3,274万円

3月補正予算質疑応答

◆総務課
問 売却予定だった町有地はどこかの土地か。今後どうするの。

答 石舟の保育園跡地とけやき台の永平寺ハウス隣接地。石舟の土地は売却を予定しているが、今年は国体用の駐車場として利用。けやき台は売却。

◆財政課
問 財政調整基金13億円を目的基金に組替え後の残高割合は。

答 組替え前は48%であった。組替え後は21%となり、その比率は県内市町で4位から10位となった。

◆総合政策課
問 住まいる定住52件は前年の34件から大きく伸びている。その理由は。

答 利用者が制度を知ってではなく、住宅メーカーが代理で申請。

◆住民生活課
問 在宅福祉サービスの利用者はどういふ人か。

答 やる気のある地元企業の支援を行う。講演会、勉強会の開催。プロジェクトの立ち上げなど。

平成30年度当初予算質疑応答

◆総務課
問 バス通学定期券補助金が29年度より減額しているのは。

答 部活等の理由で帰宅が遅くなり、バス通学定期券利用者の実績が0件であった。

問 新設されるパークアンドライドの場所と供用開始は。

答 観音町駅西側。軽自動車4〜5台駐車可能。6月補正で予算。利用は8月ごろを予定。

問 空き家等解体及び撤去補助金申請の有無及び事業の期限は。

答 空き家の管理者からの申請は無い。事業の期限は30年度とし、平成31年度も継続予定。

◆財政課
問 町債償還元金の今後の見通しは。

答 起債の内容は本庁舎耐震工事、小学校の空調などがある。据え置き期間が終了し、償還元金は増加する。

◆総合政策課
問 町内ものづくり企業等の課題解消のための具体策は。

答 上志比のファームで10アール10

答 配食は65歳以上で120人。週3回。介護用品は申請者。外出支援は75歳以上の通院で500人。

◆子育て支援課
問 幼児園の広域入所の人数は。

答 福井市へ6人。大野市へ2人。

◆農林課
問 福井県立大学に作物の研究施設がある。福井県立大学との協力体制が必要では。

答 協力的体制を作りたい。

◆建設課
問 町営住宅に空室がある。入居しやすいシステムに。

答 町営住宅の所得基準は変えられない。保証人についても廃止している県内自治体はない。

◆生涯学習課
問 全国大会出場への補助金は全額補助にしては。

答 要綱に基づき補助している。

平成30年度当初予算(骨格)報告

平成30年度一般会計骨格予算

83億8,177万円

特別会計当初予算

45億8,120万円

【主な事業】**放課後児童クラブ土曜日開設** 124万円
松岡小学校校舎等改修工事 2億2,130万円
上志比小学校校舎等改修工事 6,463万円
永平寺中学校校舎等改修工事 3,771万円
永平寺町健康福祉スポーツ施設ニッキー体育館管理運営 304万円
「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会開催事業 2億1,856万円

問 区画のオーナー制を導入し、特別栽培米の作付けを行う。

答 機械の導入には、営農組織においても大きな負担となる。計画的に進めていく必要がある。

問 担い手育成事業の予算は必要ではないか。

答 6次計画で諏訪間、寺本、宮重、京善。7次計画で下合月、兼定島。

問 地籍調査の計画地区は。

答 共同店舗はラッキー、メイト。共同店舗では高齢者の買い物客の対応でラッキーから要望がある。

問 えい坊館の中に人の気配がない。利用する人が限られているのではないか。イベントを周知させることは大切。

答 イベント等についてはPRしていく。えい坊館は交流の場として利用してほしい。利用拡大を図る。

問 九頭竜フェスティバルが今年から土曜日開催の狙いは。

答 夜のイベントが中心なので、町外来訪者に配慮した。

◆建設課
問 松岡公園の活用では施策が必要。桜は陽光と管理が重要。

答 上志比のファームで10アール10



上志比地域振興センター

◆上志比支所
問 支所新築は地域の拠点となる。どう活用するのか。

答 平成28年に地区振興連絡協議会やアンケートを基に要望書を提出。改めて意見を聞く。

議案への賛否討論

◆葬祭費補助金の用途は。
答 栗住波地区との交渉は中断している。約定書の見直しをする。牧福島地区は平成33年3月31日まで。

◆永平寺支所 福井ケーブルテレビから施設使用料等の収受は。
答 放送機器が開発センターにあるだけなので、建物の使用料は収受しない。光熱水道料のみ収受。

◆消防本部 平成30年度の消防車両の整備は。
答 消防本部は計画無し。消防団は志比南で更新。補正で対応。

◆住民生活課 古紙回収の計画は。
答 ガサ紙の回収は大橋商店にステーション有。各団体の資源回収でも回収。

問 次世代自動車充電インフラ整備の設置と方向性は。
答 現在1箇所設置。2箇所の増設を計画。国の事業を活用して民間で設置してほしい。

◆福祉保健課 フレイル予防とは。
答 虚弱な状態の人に対して、サロンの介護予防教室で栄養の取り方や身体状況のチェックを行い、健康につなげていくもの。

問 町立診療所の計画は。
答 体制を詰めて、工費を補正で対応。早期開設に向け関係機関と協議する。

問 禅の里温泉の指定管理で本社経費が多額になっている。増額されているのでは。
答 本社経費は人件費を基に20%としている。消費税改定にあわせて見直しを協議していく。

◆子育て支援課 放課後児童クラブの学校施設利用の推進を。
答 学校や教育委員会とも協議していく。

問 子ども医療の現物支給が4月から開始される。対象は15歳までであるが、高校終了までに延長できないか。
答 今後の検討課題とする。

問 幼児園には看護師が必要。保健師も活用しては。
答 看護師も保育士とみなされるようになったので、人材を確保していきたい。

◆学校教育課 学校運営支援員の活動内容は。
答 教育サポート、準備、採点サポート、授業では実習準備、プリント印刷と配布など。

問 町中学生海外派遣事業の今後は。
答 アメリカへの海外派遣は見直しし、中国との友好交流事業を計画している。

◆生涯学習課 緑の村ふれあいセンターの雪囲いの経費が毎年計上されている。玄関の移設を検討しては。
答 事務室が必要以上に広いので、移設も検討する。

問 四季の森文化館の利用計画は。
答 文化館としては4月に閉館。IoTセンターとして交流の場やサテライトオフィスとして活用。運用はまちづくり会社に。年内に始動。

問 幕末明治150年博覧会の趣旨は。
答 県の事業。郷土の産業を6市町が展示。先人や当時の暮らしを紹介する。本町の魅力を発信したい。

◆国体推進課 国体は今年の目玉。負担金をもらっているのはなぜ。

議案第6号 一般会計予算について

反対討論 金元 直栄

本予算案には町民に必要な予算も含まれていることは認め評価するが、①町有地の売却のあり方として昨年、福祉法人へ数々の便宜の上、購入時の約1/4での売却は異常だし、以前の他の物件も1/5程度と繰り返し返しており、引き続きいること。②公共施設のあり方では一部で整理も始めているが、合併後施設は増えてはいないか。一方で「行革大綱」中、保育園の民営化の断念はまだ宣言していない。③教育では、施設整備に異論はないが、池田中学校事件の背景は深い。本町の教育も、もつと自然体でいいのではないか。④高齢者福祉と庁内体制では、特別の強化が必要だ。⑤農業は米への個別補償もなくなり、農業・農協いじめの国策の中、若い人が農業に就く条件は限りなく無い状況となっている。特別の施策が必要だ。等の理由で本予算案には反対する。

賛成討論 江守 勲

今回の予算は、骨格予算として計上されており、主要事業として、新規事業17件、拡充事業4件、継続事業36件があり、特に、町立診療所の設立に向けた詳細設計委託料や、小中学校の改修、若者定住事業など町民福祉サービスの向上が図られている。尚、予算の執行に当たり町民サービスを第一とし、慎重かつ適正に執行される事を望み賛成とする。

議案第7号 国民健康保険事業特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

国民健康保険は今年から県一本化になる。県一本化で経費は削減され、さらに国の支援もあることから、協会健保の1.6倍という国保税の負担が安くなるのかと思つたら、そうはならず、将来は負担増も予想されることから反対する。

議案第9号 介護保険特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

介護サービスの利用では一部三割負担の導入など、利用抑制と将来この枠拡大を狙ったやり方。さらに介護保険料は基金を取り崩せば引き上げずに済むこと。事業中、町の福祉事業でやれることも考えると、負担増を前提とした予算には反対する。

議案第16号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 金元 直栄

今回の介護保険料の改定は、月5700円から6100円に引き上げられるが、同会計には1.2億の基金があり、これを取り崩せば引き上げは低く抑えられる。基金はこれまで保険料を取りすぎたからのもので、還元すべきだ。よってこの値上げには反対する。

答 3競技とも複数の市町の共催である。大会役員への案内等を業務分担しているため。
問 競技により副賞に差があるのなぜ。
答 副賞は競技団体で取り決め有り。
問 大会期間中の駐車場の確保はできているのか。
答 すでに確保済み。最終的には学校のグラウンドも使用。北陸電力体育館での競技用駐車場は福井県立大学の駐車場を利用。



永平寺町健康福祉スポーツ施設 ニンキー体育館 玄関入口



ニンキー体育館屋内運動場

答えてみよう!

町議会クイズ

- Q1 合併以降の歴代議長の人数は。 ヒントは…P2～3
- Q2 新任の教育長の名前は。 ヒントは…P5
- Q3 福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会の予算は。 ヒントは…P6
- Q4 四季の森文化館の利用計画は。 ヒントは…P8
- Q5 議会と語る会の開催日は。 ヒントは…P23

〈回答はP22下段にあります〉

3月定例会 一般質問

問&答

そこが聞きたい!

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

- 江守 勲 … ⑪ 伊藤 博夫 … ⑯
- 長岡千恵子 … ⑫ 奥野 正司 … ⑯
- 小畑 博 … ⑫ 上田 誠 … ⑰
- 川治 孝行 … ⑬ 金元 直栄 … ⑱
- 上坂 久則 … ⑭ 川崎 直文 … ⑱
- 朝井征一郎 … ⑭ 滝波登喜男 … ⑲
- 中村勘太郎 … ⑮

問 町長2期目の抱負と重要施策は

答 充実した地域力と人づくりを進める



江守 勲 議員

問 2期目の重要施策の取り組みは。

町長 全てが重要だが、今、進めている地域医療は喫緊の課題と捉えている。また、地域力を上げるため自治会・振興会などと連携し、自主性のある地域作りを議会と一緒に取り組むたい。

問 施策の今後の展開は。

町長 地域医療、介護の充実には、圏域の関係者の皆さんと連携を進める。また、行政主導ではなく住民が主役となり、色々な提案をしてもらい行政がバックアップするような住民主体の取り組みを情熱とスピード感を持つ



手作業で雪掻きするボランティア

◆今回の雪害の課題と対策は

問 今回の雪害で大きな見直し点は。

総務課長 国や県と連携し情報共有の連絡体制をとり、国道8号・中部縦貫道・県道など幹線道路の除雪体制の強化を求める。

建設課長 今回のような大雪に対応できる車両やオペレーターが不足していた。今後、更に車両とオペレーターの確保に努め、圧雪除去や拡幅・排雪作業の時間短縮を図る。

福祉保健課長 民生委員・社協の皆さんと連携し、お年よりの安否確認や生活支援を行ったが安否確認リストの精査や、ボランティア受け入れ、資機材の準備など対応力をつけた。

問 民間の方が除雪協力した時の補助要綱の検討は。

総務課長 県の補助制度と合わせ町の補助要綱を見直し、自主防災組織等補助金交付要綱に除雪機を明記する。

建設課長 燃料補助についても補助要綱を整備し、区長会等で各地区に周知したい。

陳情第2号を継続審査

総務産業建設常任委員会 委員長 江守 勲

本委員会は、3月23日（金）に委員8名出席（1名欠席）のもと開催し、総務産業建設常任委員会で継続審査中の陳情1件を慎重に審査した。

陳情第2号

フリーゲージトレイン導入が困難な中、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択について

- ①他市町、特に沿線自治体の動向を注視する必要がある。
 - ②フリーゲージトレインの技術の確立が明確ではない状況。
 - ③新幹線の敦賀開業までまだ時間があるので慎重に判断した方がよい。
- という委員からの意見が多く、採決の結果、継続審査とした。



新幹線とえち鉄の高架橋



町立診療所開設への取り組みについて等を協議

教育民生常任委員会 委員長 川崎 直文

3月22日（木）開催の委員会で3つ項目を協議した。

- 一、「福井しあわせ元気」国体・障がい者スポーツ大会開催への取り組みについて
- 大会開催概要、花いっぱい運動、運営ボランティア、広報・啓発・おもてなし活動等を確認。
- ・国体開催を機に、本町のスポーツ振興は、（行政）体協の協力を得て教室（ジュニアハンドボール教室、町民ピッチング教室（ソフトボール））を開催。

二、地区振興連絡協議会の設立・支援について

平成30年度は地域振興懇談会の実施、組織づくり・活動支援方法等に全庁体制で取り組む等を確認。

（行政）まちづくりの観点で地区の現状把握（公民館活動は、地区防災活動は…等）を行政・議会・地域団体と進める。

・永平寺中地区、松岡地区での協議会の区割りが課題。

（行政）7つの地区区分にはこだわることなく、動きやすい地区編成で進めるのが良い。



- 三、町立診療所開設への取り組み状況について
- 町立診療所開設調査の結果、今後のスケジュールを確認。
- 想定している診療体制では、訪問診療を重視していることから、午前中は外来診療を行い、午後は訪問診療を行うこととしている。
- 建築にあたっての詳細設計を発注し、10月ごろには建築に取り掛かりたいと考えている。
- 訪問看護や、訪問リハビリにも取組める体制も視野に入れ、町内の在宅ケアの充実を図っていきたい。

問 中山間地域整備事業について

答 農業・農村の活性化のため支援



川治 孝行 議員

問 中山間地域整備事業の目的と内容は、農業・農村の活性化を図ることを目的としている。事業内容は、農業生産基盤として、用排水設備、農道、圃場、客土、農村生活環境として、農業集落排水施設、防火水槽の整備。

問 中山間地域を定義づけるとしたらどのような地域か。

農林課長 平野部の外縁部から山間地を指す。法指定を受けた市町で林野部が50%以上農業用地の傾斜1/100で面積が50%を占める地域。

問 永平寺町では、中山間地域農業をどのように位置づけ維持するのか。

農林課長 中山間地域の特徴を生かし、地域ならではの発想を進め収

益力向上を図り、農業の競争力を強化し農村の活性化を進めたい。

問 農家の多くは「農・林・」家であり資源管理面から、農と林を一体的に捉えた町の施策は。

農林課長 担い手育成機械導入事業、6次産業への取り組みと地域の共同活動や営農活動を支援する。また、農業生産基盤と農村生活環境基盤を総合的に整備し、有害鳥獣被害対策等を支援し中山間地の活性化を支援する。

問 当事業は、5ヶ年計画だが、実施設計と実施計画年度は決定し



町内の桜並木

ているのか。

農林課長 国の予算配分が未決定のため、決定次第示したい。

問 地元負担金の支払いは計画年度29年、33年までの5ヶ年内。または5ヶ年後、2、3年内でもよいのか。

農林課長 原則事業完了後納入と協定を結んでいる。やむを得ない時は出納閉鎖迄とする。

【その他の質問】
問 桜並木の創生について
答 参ロードで桜の植栽を計画する

える桜の公園になる。新たに植えた木はまだ小さいので、成長する姿も楽しんでほしい。

問 間もなく桜の季節だが、今年は松岡公園で桜を楽しむことがで

きるか。

建設課長 一部立入禁止区域がある。坂を上った芝生やトイレの周辺は利用可能。夜間の照明を点灯。ほんほりは、全体整備が完成し

てから商工会と協議する。

【その他の質問】
問 土曜開設の児童クラブの申込状況は
答 町全体で16人が申込申請

問 松岡公園整備工事の現状は

答 一部今年からお花見が可能



長岡千恵子 議員

問 整備内容が変更になった南春日山は最終的にどうなるのか。

建設課長 平成24年2月の実施計画で、南春日山は整備区域から除外。現状のまま保存。

問 福寿園跡地や含翠荘はどうなるのか。

建設課長 福寿園跡地は眺望園地として、芝生を植え、休憩施設を平成30年度に整備。含翠荘は現状のまま活用。

問 有害鳥獣から訪問者の安全確保は。

建設課長 管理人の聞き取りや公園の巡視をした結果、出没の痕跡は確認されなかったため、対策計画はない。



松岡公園

建設課長 桜の名所はそのまま引き継ぎ、景色と自然を楽しむ憩いの空間に加え、えい坊館と古墳をつなぐ歴史が感じられる公園にしたい。

問 整備工事が完成した時に公園全体で桜の木は何本か。

町長 新たに79本を植樹し、以前からのものと併せて100本を超

食べ残しの持ち帰りを促す看板を設置する。有害鳥獣出没の痕跡があった場合には、猟友会、農林課と連携して対応する。

問 誘客のアピールは。

問 地域未来投資促進法の進捗は

答 スピード感を持って対応



小畑 傅 議員

問 本町発展の鍵を握り交通の要衝でもある、福井北JCT・IC付近の状況は、福井市と隣接し既に多くの物流企業が進出し、人や人の動きは活発。この地域は福井市の都市計画の枠内で、市街化調整区域（農振）でもある。1月17日の全員協議会では現状の課題として、農地転用・開発行為を得るには、一



福井市と接する農業用排水路

次排水先管理者である福井九頭龍土地改良区の同意が必要とある。さらに同土地改良区は排水下流域の福井市2集落の同意を求めている。この2集落は集中豪雨による度重なる浸水被害で同意を得られず、開発進捗が困難な状況に直面している。最近の異常気象からも頻度が高くなっている。また、清流地区から流れる古川用水も水量を上げていると聞く。この現状をどのように対応するのか。

総合政策課長 本町もこの地域は、交通の要衝で経済の活性化・稼ぐ力を育てる意味で重要なポイントとされている。前述の問題に関しては、福井市の企業立地推進担当部署と協議しており、市においてもこのエリアは企業立地に重要な場所だと認識している。協議

をする中、排水問題では最終の荒川改修が今後必要。福井市も荒川改修については、企業誘致もあるが、それ以前に「安全・安心のまちづくり」に以前から

県に要望している。町としても、いろんな情報を共有し荒川改修に向けて県に働きかけていくことを、福井市と合意を得ている。

【その他の質問】
問 30年2月豪雪、対応これで良かったか
答 2月6日に雪害対策本部設置し、全職員で対応

問 地域未来投資促進法の現状と課題

答 重点促進区域への企業誘致



中村勤太郎 議員

問 地域未来投資促進法により、本町はほぼ均等的なバランスで5つの区域を示したが、特に重要課題を抱える北インタージャンクション付近、福井大学医学部から県立大付近の開発行為は、**町長** この促進法により、本町での起業や企業誘致がしやすい環境となった。

答 重点促進区域の中で特に重要課題は、**総合政策課長** 福井北ジャンクション・インター周辺は、物流関係の企業が来る可能性があり、福井大学と県立大学周辺は、学術研究機能が集積されたところで、今後IT関係、製造、医療福祉施設等の企業が進出してくる可能性有り。これらの企業が来たとき、農地転用、開発行為等が速

やかにできる環境をつくりたい。
問 御陵地区はパイプラインの受益地で、農地転用とか市街化調整区域での開発が農地上、8年間の規制があるが。
総合政策課長 御陵地区のパイプライン施工による受益地である。従来耕地整理した時と面積は変わらず8年間の現基準は疑問。関係省庁では8年間の対象にならないようなことも聞いている。ただし、農地法上の27号計画では、農業に資さない形で、基準が撤廃



【その他の質問】
問 30豪雪の教訓を活かせ

問 人材から人財へ

答 人こそが原動力



上坂 久則 議員



けやき台の除排雪

問 政策実現のために人づくりが基本と思うが、人材から人財へと育成の視点を変えるべきと考えるが。
町長 人が基本、財産だと思ふ。
問 経産省において、事務次官と若手30名による勉強会を催し、提言をまとめ上げ発表し、全国から150名

以上のダウンロードがあったとのこと。人財育成の考え方を問う。
町長 これからの世界の動き、永平寺町に住み生きていく町民として、役場の職員の立場を踏まえ、現実的解決のために、若い職員同士が話し合い現状を把握し、答えを見つけ出してほしい。全体的視点を基に、仕事の目的、誰のために効果の有無を念頭に取り組みたい。
◆今冬の雪害を
問 住民の安全・安心

問 永平寺町ブランド認定品の振興は

答 認定者協議会を立ち上げ体制作り



朝井征一郎 議員

問 認定されたブランド認定品を地域の住民が、この認定品を認め、永平寺町民が一体となり販路拡大に向けて、永平寺町に人を呼び込み拡販を目指して、地域の活性化、イメージを引き上げ、情報発信して行くことで経済効果が出てくるのだが、永平寺町ブランド商品の販路開拓事業が見えてこない。補助事業で地域産業の振興をどのように目指しているのか。
商工観光課長 認定された認定品については、現在、各認定事業者が感謝祭、イベント等にて試食および販

売を実施している。30年度からは認定者協議会を立ち上げ、流通や販売などを延ばし、自走に向けて取り組んでいけるような環境づくりを町としてお手伝いしながら、体制作りを検討していきたい。
町長 町民の理解と、町外、東京、国内での発信も合わせて行っていくことが大事だと思う。町内での認知度は、まだまだ低いと思うので、住民の皆さんの理解を得られれば良いと思う。
問 永平寺町前の再開発において、商店街の観光客離れが進む中、門前商店街の今後の復活を目指して、世界に誇れる観光地として情報発信しながら、行政が支援していくことが必要ではないのか。
商工観光課長 門前の事業者の皆さんも、まちづくり協議会を立ち



SHOJIN 第2回認定品

上げて検討し、取り組んでいる。滞在時間を延ばし、永平寺の魅力を上向きさせて、散歩や、憩いの場としてお客さん呼び込んでいきたいと考えている。

町長 観光客に参道を歩いてもらって、観光客を回遊し、売り上げを延ばすことにより、観光客が増え、地域が潤い、新しい産業が生まれてくる。



SHOJIN 第2回認定品

健康づくりを地域活動の基本に

各課連携と定期的な会議で推進



上田 誠 議員

問 住民共通の思いは、住み慣れた地域や家庭で健康で生き生きと安心して暮らし続けること。そして健康づくりを通じて個人生活の向上や自己実現を図り、元気な住民が地域ぐるみで支え合い積極的に地域活動の参加につなげていく。地域力の基本と思うが。

答 健康増進に繋がると認識している。今後も地域密着の活動を展開する。

問 今、地域包括ケアシステムの構築が急務。健康づくりを構築の基本の一つにする。地方生活習慣病が死亡原因の6割。医療費もその1/3を占める現状。福祉保健課だけでなく、公民館活動の中に、学校教育やPT

保健計画（元気長生き11プラン）を基本に展開し、健康診査や各種検診につなげる。

住民生活課長 特定健康診査や予防活動の充実を図り、医療費抑制につながる機運の盛り上げ



健康づくり関連計画

りを働きかけていく。

生涯学習課長 公民館活動やPTA、各種団体に働きかけ活動につなげたい。

町長 全庁を挙げて健康寿命の引き上げ、生きがいづくり、その

中には健康づくりがある。各課の連携、チーム永平寺として定期的な会議の開催など、体制を作り上げていく。

◆債権管理は生活困窮者支援を優先に

問 債権管理条例の施行にあたり、生活困窮者支援の相談窓口の充実を図る。

税務課長 必要性、効率化を図ると同時に、悪質者は厳正な処分を、生活困窮者には、相談窓口で親身に対応し、支援する体制の整備を図る。

災組織が出来たが、自治組織（地域振興会）をつくるとなれば、色んな計画・イベント企画には予算が必要となる。何かいい提言はないか。

町長 予算をつけてスタートではなく、まずテーブルにのせ、人づくり、自主防災にしても公民館活動や区へのお願いが、また応援、支援等、一度

全て机の上ののせ把握した上で、どのような形が理想的に進められるか、地域の特性が一番分かっている議員さんと一緒に取り組みたい。

地域振興会見直しにより地域力を

行政・議会・地域住民と一緒に



伊藤 博夫 議員

問 近年の大災害において、自治組織の大切さが確認され、人口減少社会、少子・高齢化到来の中で地域住民の助け合いが求められ、そこに暮らす人達の課題を地域の事情に合わせて、協力関係を行政と共に創って行きたいとのこと。先進地視察により「これからの自治組織」



先進地視察資料

また「地域組織づくり委員会」の取り組み」等を、長野県で視察調査してきた。特に「自治組織の体制と拠点施設」「自治組織への報酬の支援、人員等の配置等」

問 各地域で自主防

また「自治組織と公民館」との連携、特に心配されるのは、各集落の区費と自治組織への会費の二重徴収だが、これら行政が自治組織へ支援出来るのか。

生涯学習課長 本町のまちづくり関係団体、4つの地域に地区振興連絡協議会が設立され、長年活動されている。その例を見ると負担金、協力金をもって協議会ごとに活動を運営しており、色々な活動事業に対し補助額を決め活動助成をしているのが現状。

2月豪雪の救急救命体制検証

救急搬入路線の消雪延長を、県に要望



奥野 正司 議員

問 大雪は多くの教訓を残した。被害は本町も含め死者12人、重傷112人の計124人。嶺北主要病院は病床が満床となった。医療物資が届かず手術延期、輸血用血液不足となった。独居高齢者やご夫婦老々世帯、障がい者の方々の不安が増大。大雪期間の本町救急体制の課題

平成30年4月1日から障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わります

平成30年4月1日から以下の方が対象となります

障害者	雇用率	雇用率向上率
身体障害者	2.0%	2.5%
知的障害者	2.0%	2.5%
発達障害者	2.0%	2.5%
精神障害者	2.0%	2.5%

障害者雇用義務

問 大雪は多くの教訓を残した。被害は本町も含め死者12人、重傷112人の計124人。嶺北主要病院は病床が満床となった。医療物資が届かず手術延期、輸血用血液不足となった。独居高齢者やご夫婦老々世帯、障がい者の方々の不安が増大。大雪期間の本町救急体制の課題

問 降雪時に町内から大学病院へ向かう時、416号は光明寺区から東古市、役場本庁前を通り福井北インター北交差点迄の約6.5km融雪あり。松岡から五松橋を渡り下合月手前迄と大学病院前は融雪あり。下合月〜大学病院前通りの間0.5kmは融雪

が無く、車は上下左右のゆれが大きく、救急隊員泣かせの状況。芝原・清流地区、北インター北交差点方面から県大回りで大学病院へ向かう時も中間で0.3

kmや0.7kmなど融雪不連続。町民の安心安全を考えると放置出来ない。

建設課長 救急用搬入路線の消雪延長については、重点整備として

県に要望していきたい。

【その他の質問】

問 4月の障がい者法定雇用率引上げ取組状況は

答 1名増員対応

問 『健康づくり』のまち目指して

答 キーワードは「自治組織」



滝波登喜男議員

問 2期目の公約にある『健康づくり』について、その柱となる第2期保健計画を早く策定する必要はある。また、健康とは心と体の両方であり、それを町民が保持増進するための動機づけをどのようにするのか。

答 2期目の公約にある『健康づくり』について、その柱となる第2期保健計画を早く策定する必要はある。また、健康とは心と体の両方であり、それを町民が保持増進するための動機づけをどのようにするのか。目指すところは、自治組織が中心で、動機づけ、関心を持っていただくとともに、保健課長、第2期保健計画には、自殺対策の計画も盛り込み、31年度に策定する。

◆「SHOJIN」の目指すところ

問 35品目を認定した永平寺ブランド「SHOJIN」は今後どういう戦略で売っていくのか。目指すところ

◆債権管理条例の狙いは

問 税等の滞納の人は、**答** 債権管理条例は、生産者の方で認定者協議会を立ち上げ、意見を出し合い、PR活動を自らしてもらう。徐々に販売が成り立つようになる。数とその額、納められるのに納めない人と、納められない人の割合は。また、債権管理条例は納められない人への生活再建支援の方法が具体的に示されていない。生活困窮者に寄り添う、あったかい町を目指して欲しい。

問 豪雪から学んだこと
答 課題・対策を検証し10月までに見直す



SHOJINポスター

れんげ米

建設課長 平成21年度の策定以降、町の総合振興計画や各種計画づくりで、より新しいデータでの分析も行われ、各種課題も明らかになっている。

町長 限られた時間で改訂に向け、交通体系整備を活かした企業誘致や、定住・移住促進に向けた土地利用へ誘導等、バランスも含め考えていく。

問 【その他の質問】町の広報は公平に
答 自衛官の募集は法に基づいて行なっている

実施する。「SHOJIN」ブランドの販路を拡大する。
商工観光課長 観光誘客は、PRを中心に独自の施策を進める。新規・大学生起業の産学官連携

町長 人口減少をいかに止めるかの次の展開を各課が連携し、町を挙げて進める。

問 【その他の質問】パブリックコメント制度の充実は
答 閲覧場所の拡大等に取り組む

問 町長2期目見えない公約から

答 サービス維持が大きな課題だ



金元 直栄 議員

問 町長は議会招集挨拶で7つの公約を示した。1期目で見えた課題を解決し、未来へつながる取り組みをすると言っている。具体的に何をやるのか見えていない。
町長 子育てや福祉サービスを維持していくために何が重要か。産業・企業を呼び込み税収を上げ、それを社会に還元し、福祉サービス等を高齢化社会にあっても維持していきたい。これが



問 都市計画マスタープランと地域課題
町長 北インター周辺や吉野地区は、都市計画の市街化調整区域内で人口減少に悩まされている。今後2年をかけた都市計画マスタープランの見直しをすると言っている。町は戦略を持って臨むのか。また計画策定に専門家を活用してはどうか。

大きな課題だ。在宅医療の充実へ町の診療所を設けるのも一例だ。

問 創生総合戦略の施策の推進は

答 子育て・定住・地域振興を各課連携で

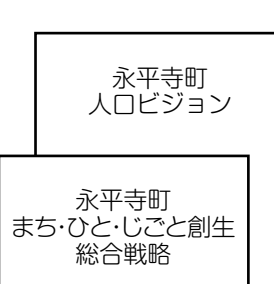


川崎 直文 議員

問 平成27年10月に策定の「永平寺町人口ビジョン」での人口推計と現状は。
総合政策課長 人口ビジョンでは2025年（平成30年）の人口を1万9,100人程と推計。住民基本台帳による本年の3月1日の人口は1万8,746人で、人口ビジョンでの推計より減少傾向が大きい。この状態が続くと2025年に1万8,000人を下回ると推計される。

問 人口減少が加速している。まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成30年度の展開は。
総合政策課長 住まいの定住応援事業、町PR事業を継続する。
子育て支援課長 延長・休日保育、放課後児童クラブ、幼稚園等での世代間交流等の事業を継続、充実する。
学校教育課長 農業振興として、給食での地産品の使用割合を平成31年度までに50%に高めた。

農林課長 農家・地域の人々との交流促進の農業体験型観光事業を



平成27年に策定の人口ビジョン、総合戦略

議会・各委員会の議員出欠状況

平成30年1月10日～3月27日

議員名(議席番号順)	上坂	滝波	長谷	朝井	江守	小畑	上田	金元	樂間	川崎	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田	齋藤
	久則	登喜男	川治人	征一郎	勲	傳	誠	直栄	薫	直文	博夫	正司	勤太郎	孝行	千恵子	憲治	則男
出席回数																	
会議回数																	
出席率																	
日付	会議名		○…出席 ×…欠席 —…員外 △…遅・早 研…研修 傍…傍聴 弔…弔事														
	議会運営委員会		—	○	—	○	○	傍	○	—	—	—	—	—	○	—	傍
	教育民生常任委員会		—	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—
	議会広報特別委員会		—	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	—	○	—	—
	議会広報特別委員会		—	—	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	—	—	—
	全員協議会		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会		—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—	○
	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
	議会広報特別委員会		—	—	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	—	—	—
	総務産業建設常任委員会			○	○	○	○	傍	傍	傍	○	傍	—	傍	—	○	傍
	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問1日目)		○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問2日目)		△	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問3日目・補正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本会議		○	○	○	○	○	△	○	○		○	○	○	○	○	○
	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本会議		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本会議		○	○	○	○	○	○	○	弔	○	○	○	○	○	○	△
	教育民生常任委員会		—	—	—	傍	傍		○	○	—	○	○	○	—	○	—
	総務産業建設常任委員会		○	○	○	○	○	—	—	—	弔	—	—	傍	—	○	○
	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	弔	○	○	○	○	○	○
	本会議		○	○	○	○	○	○	○	○	弔	○	○	○	○	○	○

傍聴にお越しく下さい

6月定例会

(予定)

生中継

5月25日(金) 10時～

【本会議】

6月 4日(月) 10時～・5日(火) 10時～・6日(水) 10時～

【一般質問】

6月 7日(木) 9時～

【補正予算審議】

6月 8日(金) 9時～

【補正予算審議】

6月12日(火) 9時～

【補正予算審議】

6月14日(木) 10時～

【本会議・採決】

6月15日(金)

【予備日】

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。

★エレベーター完備

※行政チャンネル週間番組表は、日程が決まり次第、各戸配布しますのでご確認下さい。

視察レポート

生活支援体制整備の具体事例

平成30年1月23日(火)午後 岐阜県笠松町

今後当町でも必要な地域包括ケアシステムの具体策として①専門職のネットワーク②住民参加のネットワークによる連携として「まちづくり研究会」「支援会議」等協議体制の形成。今後は訪問診療、往診(365日24時間)の充実を図るとのことであった。



住民自治と公民館活動

平成30年1月24日(水)午前 長野県飯島町

「〇〇区」(小学校校区)と「〇〇自治会」(集落単位)との二重の自治組織で連携している。区には「地区地域づくり委員会」で基本理念、計画の策定、構成団体の連携調整等、住民自治と町行政の支援関係を確立し、協働のまちづくりを实践。事例として自主運営の田切区、道の駅「田切の里」を視察。



地域自治組織と支援体制

平成30年1月24日(水)午後 長野県飯田市

市の竜丘自治地区を視察。自治会は4地区で構成。地域協議会(市の組織)とまちづくり委員会(住民の組織)に分かれ、委員会には環境、福祉、公民館等で、町内会選出役員で構成し自主運営。行政支援として職員3名、公民館主事2名。保健師、事務職各1名を配置している。地域独自の活動を中心に、行政と協働する形態を取る。

今回の研修で感じたことは、行政の人的、資金的な組織運営の基本支援の必要性と、各自治体の自主運営(自分たちで決め実行)を基本としている点であり、今後の当町の柱とすべき方向性と考えます。

(教育民生常任委員会 副委員長 上田 記)

税の債権管理一元化条例の運用状況

平成30年1月29日(月)～30日(火) 神奈川県秦野市・静岡県熱海市

秦野市では税の債権管理一元化条例の先進地として、条例の運用状況を視察研修した。特に、「債権管理一元化と生活再建型滞納整理」について意見交換し、担当職員による未収金対策会議を年2回開催し情報交換や情報共有を図り、顧問弁護士による法務研修を行い知識の向上に努めるとともに、多重債務者対策庁内連絡会議等を行い、情報を共有し共通理解に取り組んでいる。また、滞納を生じさせない仕組みとして税の納期限の見直しや、コンビニ納付・クレジット納付等を検討し、滞納者から納税者になってもらえる取り組みをしていた。



ブランド戦略の取り組み



熱海市商工会議所では、熱海ブランドについて視察研修を行った。観光の形態が様変わりし、観光客が激減して観光産業が大打撃を受けた。そこで、熱海市商工会議所では、テレビ局などに番組誘致や、ターゲットを女性に絞ったブランド認定制度を確立し、JR熱海駅にテナントショップを設ける等、積極的な取り組みを行い観光客がV字回復している。

今回の、視察研修を永平寺町の取り組みに活かせるようにしたい。

(総務産業建設常任委員会 委員長 江守 記)



議会と語り合



都合のいい会場にお越しください

4月25日(水)・26日(木)

いずれも午後7時00分～

テーマ 「豪雪で学んだ地区の災害対策」

自助・共助・公助とは（行政の役割・地域の役割）

次のような問題点についてご意見をお聞かせください。

- ・生活道路の確保 ・子どもたちの通学路の確保
- ・狭い町道や区道など、除雪機があれば自分達でも開けられるけど、除雪機など個人で買うには金額が高いが、補助があれば導入できるのでは！

開催地区は下記のとおりです。

4月25日(水) 19:00～

- 1班 松岡多目的集会センター(ざおう荘) 松岡吉野地区
- 2班 えい坊館 松岡地区①
- 3班 松岡ふるさと学習館 松岡地区②
- 4班 松岡農業構造改善センター 松岡御陵地区

4月26日(木) 19:00～

- 1班 志比南小学校 永平寺志比南地区
- 2班 開発センター消防ホール 永平寺中地区
- 3班 永平寺生活改善センター 永平寺北地区
- 4班 サンサンホール 上志比全地区

担当議員

1班



伊藤 博夫 長谷川 治人 上田 誠 金元 直栄

2班



中村 勸太郎 江守 勲 樂間 薫 川治 孝行

3班

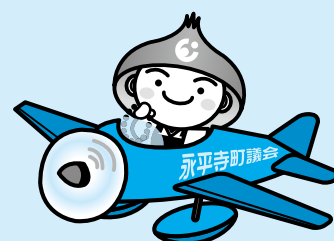


奥野 正司 朝井 征一郎 小畑 博 多田 憲治

4班



長岡 千恵子 上坂 久則 滝波 登喜男 川崎 直文



あなたの声を 間近で聞く

永平寺町議会



議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!

3/4
防災講座



災害避難講演と訓練

3/6
地鎮式



永平寺町観光案内所

3/10
梅花文芸祭



3/13
16
小中学校卒業式



上志比中学校



えい坊くん壁掛け展示 (梅花文芸祭)

編集者のひと言

56豪雪以来の大雪に見舞われた2月、降り続く雪、通れなくなる道路に一時はどうなるものかと思いましたが。しかし、時は春爛漫、山積みになった雪も跡形もなく消え去り、頬を撫でる風も心地よい季節になりました。

町内の公園や家々の庭では、梅、桜、吉野ツツジ、水仙、ヒアシンス、レンギョウ、チューリップ、芝桜、菜の花、花桃、モクレン、コブシ、花ズオウ、ボケ：と花や木々の日々の命の営みを美しく、見る人に届けてくれます。

働いてよし、住んでよし、地域よし：の永平寺町の町民の命の営みを福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会で全国に見て頂きましょう。

(奥野 記)

議会広報特別委員会委員

委員長 小畑 勲
副委員長 江守 傳

委員 朝井征一郎・樂間 薫
川崎 直文・奥野 正司
長岡千恵子

発行責任者 齋藤 則 男